

## 旧広島陸軍被服支廠に係る第 2 回検討会議の開催状況等について

### 1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の安全対策工事の実施設計業務と建築物の価値調査について、意見を聴取するため、「第 2 回旧広島陸軍被服支廠 安全対策・価値調査等検討会議」（以下「第 2 回検討会議」という。）を開催したので、報告する。

また、旧広島陸軍被服支廠の活用について、懇談会委員とワークショップメンバー等による建物の活用に向けた意見交換会を開催したので報告するとともに、民間事業者による建物の活用の可能性を把握するため、国土交通省主催の「令和 4 年度官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォームサウンディング」（以下「民間事業者サウンディング」という。）に参加したので、その概要について報告する。

併せて、「第 5 回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会」（以下「第 5 回懇談会」という。）を開催する。

### 2 現状・背景

建物の安全対策を早急に進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現させるために、建物 3 棟の安全対策の実施設計業務を進めている。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査を進めている。

また、重要文化財の指定を見据え、指定後に必要となる建物の管理・活用の方向性等を定める保存活用計画の検討を進めるため、有識者等で構成する懇談会を設置・開催し、活用の方向性の取りまとめを進めている。

### 3 安全対策等に係る取組の概要

#### (1) 第 2 回検討会議の開催状況について

ア 実施主体：県

イ 日時：令和 4 年 10 月 24 日（月）13 時 00 分～14 時 00 分

ウ 場所：県庁自治会館 101 会議室

エ 出席委員：委員全 7 名

オ 実施内容

文化財指定に向けた価値調査及び安全対策工事に伴う実施設計について、進捗状況を説明し、意見を聴取した。

説明に対する各委員からの主な意見は次のとおりであった。

主な意見
・安全対策工事の実施設計については、建物の安全性を確保するために綿密に検討を重ねて、適切に整理されている。
・建築に関わった技術者の名前が確認されたことは重要なことである。

### 主な意見

- ・菊間瓦が創建時のものが残っていることは、非常に大きな発見であり、その一部が残せるというのは、大きな成果である。
- ・安全対策等工事を行う際には、学校として使用されていた際の黒板などの痕跡や、被爆時の損傷、経年の汚れなどを保護して、工事中に消えたり傷んだりしないように対策を行う必要がある。
- ・実際に安全対策工事に着手すると、外見からは分からなかった、文化財に関する新たな発見の可能性があり、こうした情報を見逃さないよう取り組む必要がある。
- ・文化財的価値としては、旧日本陸軍の軍事施設が残っていることの希少性や鉄筋コンクリート造と煉瓦造の混構造という技術的特徴、被爆建物としての痕跡といった内容が総合的に評価されるべきものである。

#### (2) 安全対策等の今後の進め方について

委員の意見を踏まえて、引き続き、安全対策に係る実施設計や文化財指定に向けた価値調査を進め、令和5年3月に開催する次回検討会議において、とりまとめた結果を報告する。

#### 4 活用の検討に係る取組の概要

##### (1) 懇談会とワークショップメンバー等の意見交換会の開催状況について

ア 実施主体：県

イ 日時：令和4年11月12日（土）14時00分～16時00分

ウ 場所：県庁本館 講堂

エ 参加者数：63名

〔 現地参加：46名（WSメンバー25名，一般参加者21名）  
WEB参加：17名（WSメンバー2名，一般参加者15名） 〕

##### オ 実施内容

活用の方向性の取りまとめに向けて、懇談会委員が今後の議論・検討の参考にするため、ワークショップメンバーやワークショップメンバー以外の県民と被服支廠の活用に向けた意見交換を実施した。

### ワークショップメンバーなどの主な意見

- ・歴史的価値を活かしながら、建物維持に必要な資金を得ることのできる持続可能な活用を進めることで、広島に元気を与える場とする必要があるのではないかと。
- ・戦前、戦後の歴史、移民の歴史、原爆文学や資料の収集・貸出など、広島の歴史や平和の発信の場として活用する中で、将来的には世界遺産を目指してはどうか。
- ・ワークショップで提案された宿泊・集客施設等の整備には、民間との協働による資本投入が必要ではないかと。
- ・建物を知ることや興味を持ってもらうため、県民が「申請すれば見学し、使うことができる」ということや、県民参加型の寄付の仕組みを作ってはどうか。
- ・地域住民や皆実町商店街と共に、周辺の活性化やまちづくりに繋がる仕組みを考えてはどうか。
- ・1棟は建物の過去や魅力をそのまま伝える現状保存として、その他を美術館、ホテル、オフィスやアトリエなどに活用してはどうか。
- ・瀬戸内海に点在する旧軍の遺構を結ぶツーリズム商品を開発してはどうか。

## (2) 民間事業者サウンディング参加状況について

ア 実施主体：国土交通省

イ 日時：令和4年11月8日（火）11時00分～12時00分

ウ 実施方法：県と民間事業者がWEBにより、建物の活用に向けた意見交換を行う。

エ 参加事業者数：12社（施設管理・運営事業者，建設事業者，宿泊事業者など）

オ 民間事業者からの主な意見

意見交換項目	主な意見
①具体的な活用のアイデアについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・活用の用途は，単一用途ではなく，様々な用途が複合した活用がいいのではないかと。例えば，棟ごとに目的を分け，1棟は宿泊施設，その他の棟は，飲食・物販，テナントなど。</li><li>・倉庫としての広い空間があり，様々な活用の可能性のある構造ではないかと。</li></ul>
②収益性や参入可能性について	<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的建造物の活用としてのポテンシャルはあるのではないかと。</li><li>・民間での独立採算は難しいのではないかと。官民が連携して進める事業ではないかと。</li><li>・県は，博物館・図書館など中核となる公共施設を運営し，その他の収益性のある飲食・物販などを民間で運営してはどうか。</li></ul>
③参入に必要な前提条件や懸念点	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路の接道，駐車場，周辺の住宅立地状況を考えると商業施設などの集客施設は難しいのではないかと。</li><li>・中心市街地から離れているので，回遊性をどのように高めるかが重要ではないかと。</li><li>・PPPやPFIなどの手法も検討してはどうか。</li></ul>

## (3) 第5回懇談会の開催について

ア 実施主体：県

イ 日時：令和4年12月21日（水）13時00分～15時00分

ウ 場所：県庁自治会館 301会議室

エ 実施内容（予定）

懇談会とワークショップメンバー等との意見交換会，民間事業者サウンディングなどを参考として，これまでに懇談会で議論・検討してきた活用に向けた基本的な考え方や具体的なアイデアを基に，活用の方向性のとりまとめに向けて意見交換を行う。

## (4) 活用の方向性の取りまとめに向けた今後の議論の進め方について

被服支廠の活用を進めるための基本的な方針を整理した上で，ワークショップや大規模ワークショップでの活用のアイデア，民間ヒアリングなどを参考として，令和5年3月に開催する懇談会において，実現可能性のあるアイデアを「活用の方向性」として，複数案取りまとめる。

## 5 予算（単県）

旧広島陸軍被服支廠安全対策等事業（事業期間：R 3・R 4）（単位：千円）

区分	令和3年度 (最終予算)	令和4年度 (当初予算)	計（令和3・4）
安全対策に係る実施設計	30,888	82,309	113,197
重要文化財指定に向けた建築物の価値調査	18,766	19,954	38,720
活用の方向性のとりまとめ	9,526	12,000	21,526
計	59,180	114,263	173,443

## 6 その他（関連情報等）

[旧広島陸軍被服支廠 | 広島県 \(hiroshima.lg.jp\)](http://hiroshima.lg.jp)

[国土交通省HP：サウンディング（令和4年度） | PPP/PFI（官民連携） \(mlit.go.jp\)](http://mlit.go.jp)

【参考】被服支廠に係る検討の進め方について

区分	安全対策・重要文化財指定	活用の方向性検討		
		懇談会	ワークショップ	
令和3年度	<b>第1回検討会議(2/7)</b> ・安全対策に係る実施設計及び建築物の価値調査について、取組方針を説明し、意見聴取	<b>第1回懇談会(11/10)</b> ・検討プロセス	<b>第1回ワークショップ(1/30)</b> ・被服支廠に係る情報提供  <b>第2回ワークショップ(3/13)</b> ・キーパーソンヒアリング ・活用に当たって必要な視点	
		<b>第2回懇談会(1/26)</b> ・被服支廠に係る情報提供		<b>第3回懇談会(3/22)</b> ・活用アイデアの提供 ・検討ポイントや基本的な方針
		<b>第3回懇談会(3/22)</b> ・活用アイデアの提供 ・検討ポイントや基本的な方針		
令和4年度	<b>第2回検討会議(10/24)</b> ・安全対策に係る実施設計及び建築物の価値調査について、進捗状況を説明し、意見聴取  <b>第3回検討会議(3月予定)</b> ・安全対策に係る実施設計及び建築物の価値調査の結果を説明し、意見聴取	<b>第4回懇談会(7/24)</b> ・活用テーマや活用アイデアの意見交換	<b>大規模ワークショップ(4/17)</b> ・活用のアイデアの意見交換	
			<b>第4回ワークショップ(8/27)</b> ・活用し続けるために必要な取組について意見交換	<b>第3回ワークショップ(6/11)</b> ・活用のアイデアの意見交換
				<b>懇談会とワークショップメンバー等の意見交換会(11月12日)</b>
		<b>第5回懇談会(12月21日)</b> ・活用の方向性のとりまとめに向けた意見交換  <b>第6回懇談会(3月予定)</b> ・活用の方向性のとりまとめ	(Red arrows indicate flow from the 3rd Workshop to the 3rd Meeting, from the 4th Workshop to the 4th Meeting, and from the 5th Meeting to the 6th Meeting.)	<b>第5回ワークショップ(12月12日)</b> ・活用方向性の意見交換
				<b>第6回ワークショップ(3月予定)</b> ・活用方向性の意見交換
				<b>第7回ワークショップ(3月予定)</b> ・活用方向性の意見交換